

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービス あい・ランド		
○保護者評価実施期間	2025/1/15		2025/1/31
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	2025/1/15		2025/1/31
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025/2/17		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動の幅広さ	<ul style="list-style-type: none"> 様々な活動設定をしている。 職員がそれぞれの強さを持ち、担当の活動がある。 こどもに合わせた無理のない設定。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動プログラムの工夫。 こどもに合わせた声掛け。
2	笑顔で安心できる居場所	<ul style="list-style-type: none"> 「たのしい」「毎日通所したい」と思える環境作り。 こどもが当たり前で経験することを、当たり前で経験できる環境作り。 一階にある「あいの郷」のおじいちゃんやおばあちゃんたちが「おかえり!!」と出迎えてくれることへの安心感。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境づくりに努める。
3	同世代との交流	<ul style="list-style-type: none"> 同世代のこどもたちと過ごすことで、安心感を持つ。 遊びを通してコミュニケーション能力や問題解決能力を伸ばす。 小学生の段階に合わせた学習や遊びを提供することで、こどもたちの成長を効果的にサポートします。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの機会を作る。 ひとりひとりの発信に目を向ける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	2階にあるためバリアフリー化が難しい。	<ul style="list-style-type: none"> 歩行が難しいこどもに対してのフォロー 建物構造上、難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ケガなどが起きないように「もしも」のための人員配置。
2	送迎範囲。	<ul style="list-style-type: none"> ドライバー不足 下校時間が一定でない 車両不足 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎問題の解決が必要。
3	保護者同士の交流。	<ul style="list-style-type: none"> 法人での保護者会はしている 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事をしている保護者の方へのわかりやすい周知。 保護者会をする時間をとる。 ニーズに応じて、交流会を増やしたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	あい・ランド
------	--------

公表日 2025/2/22

利用児童数 17名

回収数 17名

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	2		1		・スペースの確保に努めます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17					・引き続き、職員の確保・配置をします。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	2		1	・フリースペース等、使いやすく分かりやすい。	・使いやすく分かりやすいスペースの確保に努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17					・引き続き、清潔を徹底します。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17				・定期的に面談して頂き、毎日の連絡帳でも様子を詳しく知ることができる。	・引き続き、努めます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	1		1		・支援内容に合わせたプログラムを作成します。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17				・面談でのヒアリングや相談しやすい。 ・環境で支援計画も詳細に作成されている。	・引き続き、ニーズや課題を相談した上での支援計画の作成をします。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16			1		・引き続き、具体的な支援内容を設定します。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17					引き続き、計画に沿った支援を行います。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1			・月ごとに配られる予定表でも様々な内容で予定が組まれている。 ・こどもが楽しめる配慮がなされている。	・引き続き、活動プログラムの工夫をします。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12	4	1			・活動中に地域のこどもたちと遊ぶ機会があります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1				・お手紙の配布をしています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17					・引き続き、支援内容の説明を行います。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	2			・定期的に母親の集まる会が開催されている。 ・母だけに限定されないが良い。	・引き続き、開催をします。 ・「ママ友会」から誰でも参加できるような名前に変更する。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16	1			・連絡帳や送迎時に変化やできるようになった事などの共有をしている。	・引き続き、連携に努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17					・引き続き、保護者の方と一緒に考えた支援をします。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17					・引き続き、共感的に支援ができるように徹底します。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	3		2	・定期的に法人での茶話会は開催しているが事業所内での茶話会をしてほしい。	・検討します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1				・引き続き、迅速な対応を心がけます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17				・連絡帳だけでなくLINEを使用している伝達手段がある為、緊急時に助かる。	・引き続き、様々なツールを使い配慮してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	3		1		・わかりやすい掲載をしていきます。 ・掲載する際に、連絡帳等でお知らせしていきます。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16		1		・施設できる棚での保管を徹底します。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15		2	・定期的に避難訓練が行われている。	・様々なことを想定した訓練の実施をします。 ・保護者の方へ周知します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	1	2	・避難場所へ行く練習などはじめての場所に慣れるために配慮がある。	・引き続き、避難経路の確認や定期的な訓練の実施をします。 ・保護者の方へ周知します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17				・引き続き、安全の確保に努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17				・引き続き、迅速な対応を心がけます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17			・学校で送迎車に乗る姿を見る機会があったが安心した様子で自ら乗り込んでいた。	・引き続き、安心して通所できる環境づくりに努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	2		・たのしそうな顔で帰ってきます！！ ・とても楽しんで通所している。	・楽しみに通えるようなプログラム、環境づくりに努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17			・通所した日は帰宅後も機嫌がいい。 ・積極的に何かをする姿勢が見られる。 ・長期休暇や休日に遠出をして欲しい。	・他の児童の体調も考慮して、遠出できるよう調整します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あい・ランド		公表日 2025/2/22		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2	・活動を少人数に分けるなどしてスペースの確保を行っている。	・スペースの確保に努めます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	・スタッフ4名の配置をしている。	・利用人数に合わせて調整している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	・絵カード等を使用している。	・継続して環境を整えます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		・毎日、清潔を保ち、安全に過ごせる環境を整えている。	・継続して清潔を保ちます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2	・建物の構造上、部屋を増やすことが出来ないため、パーティションを使い対応している。	・状況に応じて対応している。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	・打ち合わせをしている。	・打ち合わせを行っているが、振り返りが出来ていない時がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	・評価表の提出をお願いしている。	・職員内で課題や改善点を確認します。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・ミーティングを行い、話し合いが出来る場を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2		・現在、第三者による外部評価は実施できていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	2	・案内などを配布している。	・職員に周知します。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1	・公表している。	・継続して公表いたします。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		・保護者の方から聞き取りを行い、計画書を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・様々な視点から意見を出し合い、作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		・作成後は共有の徹底をしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		・支援経過記録を残して行動観察している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		・設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	・常勤職員で話し合い、毎月作成している。	・常勤職員以外への意見も聞き取る。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		・意見を出し合い、活動プログラムを考えている。 ・新入生が入ってきた場合は慣れるまで固定化させることがある。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		・こどもの状況に応じて、行っている。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		・申し送りをを行い、情報共有をしてから支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		・その日のうちに共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		・パソコン入力に変更し、簡単に記録を残せるように工夫した。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		・定期的に計画内容の確認をしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8	1	・意識して支援を行っている。	・職員に周知します。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		・意見を尊重し、選択する機会を多く持つようになっている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		・参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	・連携を取っている。	・引き続き、努めます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1	・保護者に間にはいつていただいている。	・引き継が十分でないことがある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		・必要に応じて情報共有を依頼している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		・該当していない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1	・児童発達支援センターとの関わりはないが近隣の児障害者支援センター等には相談を行っている。	・職員に周知する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	6	3	・児童館との交流はないが活動をしている中で地域の子どもたちと公園等で一緒に遊ぶことがある。	・引き続き、努めます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	3	・参加している。	・参加していることを職員に周知する。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	1	・送迎の時に保護者の方とお話する機会がある。	・情報共有をする。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	・研修等がある場合は連絡帳やチラシなどで情報共有を行っている。	・情報共有を行っていることを職員にも周知します。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		・行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		・面談で意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		・面談で説明している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		・送迎時、もしくは電話やラインで対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	9		・月に1回、保護者会を開いている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	1	・苦情があった場合、職員に周知して意見を出し合い、迅速に対応を考えている。	・職員に周知する。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	1	・楽しめるような内容を発信している。	・個人情報に気をつけて行う。

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		・鍵付きの棚で保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		・個々に合わせたツールを使い、環境を整えている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	2	・クリスマス会に地域の方に来ていただいた。	・職員に周知する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		・年に数回見直しを行う。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		・定期的な訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		・酔い止めが必要な場合がある。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		・専用のコップや皿を用意している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		・様々な場面を想定して取り組んでいる。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	・周知している。	・職員に周知する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		・分かりやすく保管している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		・研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		・身体拘束を行う対象児がない。	